

第 8 期 pES club step4 大会歯学生シナリオ

平成 21 年 6 月 28 日

慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室

大石 匠

東京医科歯科大学 健康推進歯学

南郷 里奈

東京北社会保険病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは黒蘭歯科大学附属病院歯科・口腔外科に勤務する 3 年目の歯科医師です。

今日は初診の出利景都さん（56 歳女性）を配当されました。出利さんは、1 週間前に鏡で口腔内を見た際に、左側舌縁部に直径 20mm 程度の白斑があることに気付き、当科を受診しました。口腔内を診査したところ、下顎臼歯部の舌側咬頭に鋭縁が認められました。下顎に欠損歯はありません。最近、舌にできる病気についてのテレビを見たとのことで、大変気になっている様子です。

出利さん「いつからこうなっているか分からないんだけど、どうみても普通じゃないわよね。最近テレビとか新聞でよく舌ガンとか言ってるでしょ。やっぱり私はガンなのかしら？」

あなた「舌が白くなる病気にはいくつかありますし、今後検査を行ってみなければ何とも言えません。確かに、中には悪性のものもありますが、細菌が繁殖しただけのものやガンの手前の状態ということも考えられます」

出利さん「ガンの手前ですって！？それは放っておけばガンになるってことなんでしょう？それなら早く治療してちょうだいよ！抗ガン剤だってあるんでしょ？」

出利さんは舌の白斑に気づいてから、心配で頻繁に鏡で舌を見ているそうです。また、インターネットなどで度々、舌の病気について詳しく調べているようです。

あなたは現在考えられる鑑別疾患と、今回および今後に必要な検査について、出利さんに説明することにしました（10 分間）。

(次ページにポイントを記載しました)

1. 鑑別疾患が列挙できるか

- ① 舌の扁平上皮癌
- ② 白板症（前癌病変）
- ③ 扁平苔癬（前癌病変）
- ④ 口腔カンジダ症
- ⑤ （舌痛症）

2. 必要な検査を順序立てて説明できるか

- ① 画像検査（CT, MRI）
- ② 細菌検査
- ③ 舌の白斑を拭ってみる，舌の触診
- ④ 生検

3. 神経質な患者さんに対し，それを踏まえた応対ができるか

また，患者さんがその日帰る時に納得できているか

ポイントは，患者さんは舌のがんだと信じて疑っていないこと（cancer phobia）です．

その患者さんに対し，考えられる疾患を挙げ，今後検査を行わなければ確定診断に至らない旨を専門用語を用いずに説明できるかが焦点です．

また，舌を鏡で見る，疾患について調べることは口腔粘膜疾患の患者さんの中で神経質な方の典型例ですので記載しました．